

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和7年7月～9月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」で、総合業況DIは▲22と、前期▲23からほぼ変わらなかった。

業種別では、飲食業・サービス業が▲15（前期差7ポイント増）と改善した。建設業は▲12（前期差±0ポイント）で前期から変わらず、製造業は▲33（前期差2ポイント減）もほとんど変わらなかった。小売業・卸売業が▲35（前期13ポイント減）と悪化した。

小売業・卸売業を除くと、全体として横ばいの傾向である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 3	▲ 13	▲ 2	▲ 21	9
採算	▲ 18	▲ 27	▲ 13	▲ 30	▲ 10
仕入単価	▲ 56	▲ 60	▲ 65	▲ 63	▲ 47
販売単価	16	10	21	34	11
従業員	26	13	43	19	27
資金繰り	▲ 17	▲ 24	▲ 12	▲ 21	▲ 14
今期業況 (総合判断)	▲ 22	▲ 33	▲ 12	▲ 35	▲ 15
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景観観測調査
					<<景観観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下	

参考) 今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和6年10月～ 12月期					
2四半期前 令和7年1月～ 3月期					
1四半期前 令和7年4月～ 6月期					
今期 令和7年7月～ 9月期					

今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和7年7月～9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲26(前期差2ポイント増)で天気図は「小雨」。飲食業・サービス業は▲17(前期差14ポイント増)で大幅に改善した。建設業は▲12(前期差3ポイント減)で小幅の悪化、小売業・卸売業は▲44(前期差16ポイント減)で大幅に落ち込んだ。製造業は▲45(前期差5ポイント減)と前期から悪い状況が続く。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲10	▲25	▲5	▲34	5
採算	▲20	▲34	▲16	▲39	▲7
仕入単価	▲54	▲58	▲62	▲61	▲44
販売単価	10	1	17	24	5
従業員	20	9	41	8	16
資金繰り	▲21	▲31	▲14	▲31	▲16
今期業況(総合判断)	▲26	▲45	▲12	▲44	▲17
今期業況 天気図					

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和7年7月～9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲15(前期差1ポイント減)とほぼ横ばいで、天気図は「小雨」のままである。

建設業は▲11(前期差16ポイント増)で大幅に改善した。飲食業・サービス業は▲13(前期差2ポイント減)、製造業は▲16(前期差±0ポイント)で前期と同じであった。小売業・卸売業は▲24(前期差8ポイント減)で悪化した。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	8	6	16	▲4	13
採算	▲14	▲14	0	▲20	▲14
仕入単価	▲59	▲64	▲79	▲65	▲51
販売単価	26	24	37	48	18
従業員	35	20	53	33	41
資金繰り	▲11	▲13	0	▲9	▲12
今期業況(総合判断)	▲15	▲16	▲11	▲24	▲13
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下	

次期見通し天気図

次期見通し業況天気図

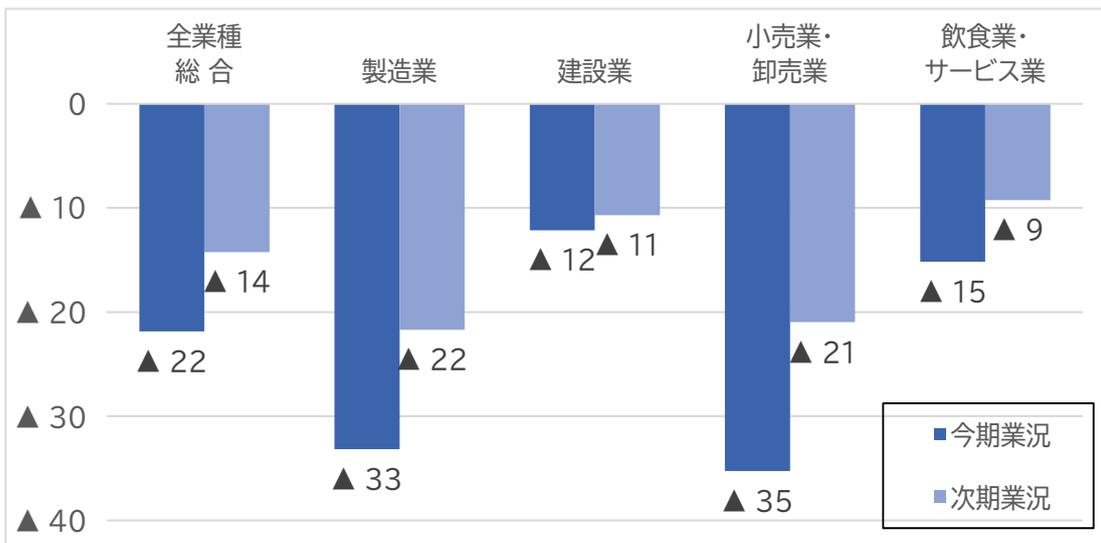
令和7年10月～12月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲14(今期差8ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。
産業別にみると、小売業・卸売業は▲21(今期差14ポイント増)、製造業は▲22(今期差11ポイント増)と大きく改善し、飲食業・サービス業は▲9(今期差6ポイント増)、建設業は▲11(今期差1ポイント増)も改善し、全ての業種でプラスとなった。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	2	▲7	4	▲5	10
採算	▲10	▲13	▲7	▲23	▲6
仕入単価	▲44	▲41	▲54	▲56	▲38
販売単価	12	6	15	34	6
従業員	24	13	38	15	26
資金繰り	▲12	▲13	▲9	▲20	▲9
次期業況 (総合判断)	▲14	▲22	▲11	▲21	▲9
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和7年10月～12月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは▲18(今期差8ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。
 産業別にみると、小売業・卸売業は▲29(今期差15ポイント増)、製造業は▲30(今期差15ポイント増)と大幅な改善の見込み。飲食業・サービス業は▲8(今期差9ポイント増)も改善する予想である。建設業は▲15(今期差3ポイント減)と小幅の悪化の予想である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲3	▲16	3	▲15	5
採算	▲10	▲18	▲6	▲29	▲2
仕入単価	▲43	▲40	▲53	▲53	▲35
販売単価	8	2	13	24	1
従業員	19	10	36	8	18
資金繰り	▲15	▲17	▲11	▲34	▲10
次期業況(総合判断)	▲18	▲30	▲15	▲29	▲8
次期業況 天気図					

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和7年10月～12月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは、▲8(今期差7ポイント増)で、天気図は「薄曇り」の予測。
 産業別にみると、建設業は16(今期差27ポイント増)、小売業・卸売業は▲11(今期差13ポイント増)で大きく回復した。製造業は▲9(今期差7ポイント増)、飲食業・サービス業は▲10(今期差3ポイント増)と、いずれも増加し、全ての業種でプラスとなる見込みである。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	11	6	5	9	14
採算	▲10	▲7	▲11	▲15	▲9
仕入単価	▲46	▲44	▲58	▲61	▲41
販売単価	18	11	26	48	11
従業員	30	19	53	24	36
資金繰り	▲6	▲7	0	▲2	▲7
次期業況(総合判断)	▲8	▲9	16	▲11	▲10
次期業況 天気図					

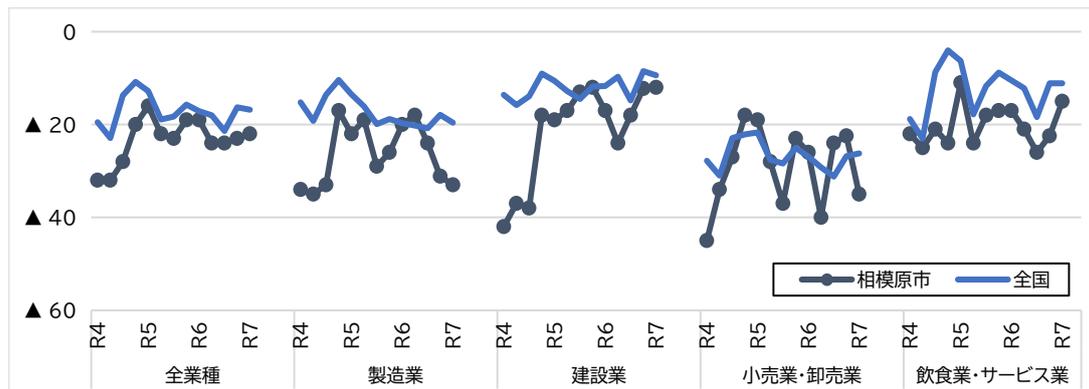
業況天気図凡例				
 DI値 31以上	 DI値 30～11	 DI値 10～▲10	 DI値 ▲11～▲30	 DI値 ▲31以下

<<景気観測調査>>
 前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化した景気動向を調査。
 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

業況DI(前年同期比)の推移

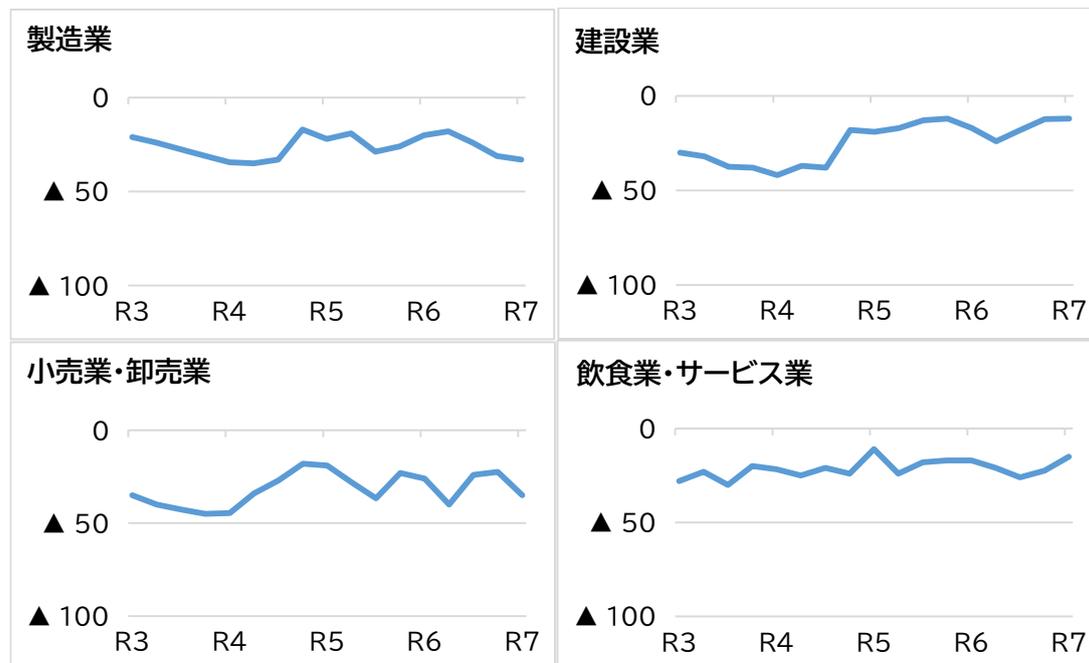
全産業の業況DIは、今期は▲22(前期差1ポイント増)で、前期とほぼ変わらなかった。産業別にみると、飲食業・サービス業は▲15と改善した。建設業は▲12と不変であった。製造業は▲33と小幅の低下で、小売業・卸売業は▲35と前期から大幅に悪化した。全国と比較すると、全業種で全国の水準を下回っており、特に製造業と小売業・卸売業が低くなっている。

(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI(特徴的なトピックス)

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・新規製品は減少、メンテ改造、更新等は増加傾向と思われる。【工場生産設備の組立、制御盤設計製作】
- ・半導体業界(生成AI)は設備投資が非常に盛ん。【精密機器製造】
- ・自動車の売り上げ。トランプの影響。【ダイカスト製品の良品支援装置、ランナー加圧装置、新局部加圧装置】
- ・高校卒業者の採用が困難となっている。【臨床検査薬の開発、製造、販売】

【建設業】

- ・建設業においては昨年下半年に前倒しや集中があり、今期上期～下期前半は売上減少見込み。また広く求人しているが充足しない。居宅介護支援においてはケアマネの高齢化が大きく人員の入替を考えると収支圧迫。【クリーンルーム、居宅介護支援】
- ・国内建設市場は都市部の再開発や半導体事業の生産施設など旺盛な需要が続いている一方、建築技術員や技能労働者が逼迫している。さらに、時間外労働に関する上限規制が適用されたことにより、労務不足が顕著となっている。【土木、建築工事請負業・不動産事業】
- ・とにかく人手不足。元受業者、下請業者共。弊社にもたまに応募があるが、条件折り合わず。【給排水・衛生設備工事、空調・換気設備工事】
- ・材料単価が上昇して、民間工事が減っている。【重軽量鉄骨製作取付】

【小売業・卸売業】

- ・業界、業種毎に顧客売上に明暗がはっきりしている。メキシコ、カナダ向輸出品の納期後倒し要請有。【産業・工業用ゴム樹脂、金属製品の販売】
- ・高齢世帯ばかりで次の世代がその家を継がない為、空き家が増加。【LPガス、灯油、住宅リフォーム】
- ・国の農業政策が不透明。【精米・玄米販売】

【飲食業・サービス業】

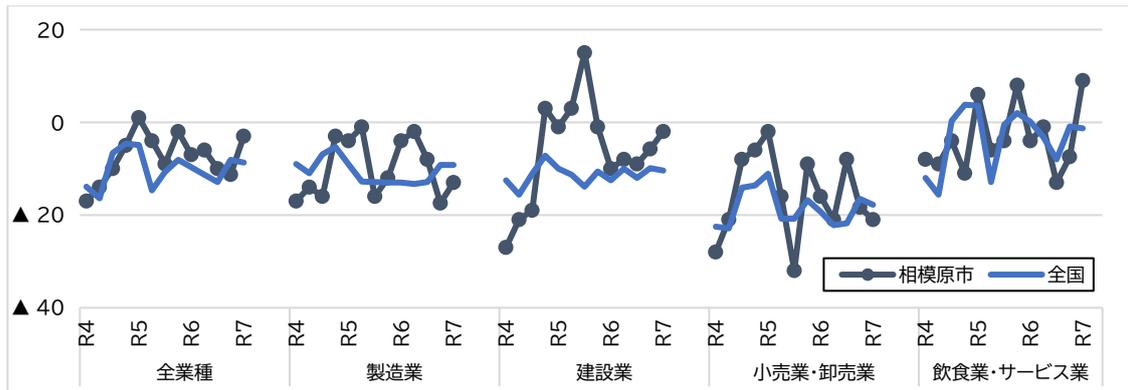
- ・新規が増えてきたが単価がまだまだ安いので価格設定を見直したい。【デザイン制作、HP、ブランディング&マーケティングサポート】
- ・無料AIによるイラストやグラフィックデザインが広がりを見せ、ヒト=デザイン専門職の領域に入ってきた。【編集・グラフィックデザイン・印刷】
- ・不動産に限って言えば、購買層が二極化しており、外国人が富裕層しか購入できない状況になっている。【不動産仲介業】
- ・忙しい、人手が足りない状況がしばらくは続く予想される。【立体自動倉庫を中心としたマテリアルハンドリングシステムなど周辺機器を含むメンテナンス、部品交換、改造工事】
- ・猛暑日が多く、また雨も少ないためコースメンテナンスに苦慮している。【ゴルフ場運営】
- ・日産自動車の業績悪化の影響を大きく受けている。また、公共工事・民間工事の新規着工件数が減少している印象がある(既存現場の工期延長、建設職人の人材不足が影響か)。そのため、建設資材の運送がこの間減少している。【一般貨物自動車運送事業】

売上DIの推移

売上DI(前年同期比)の推移

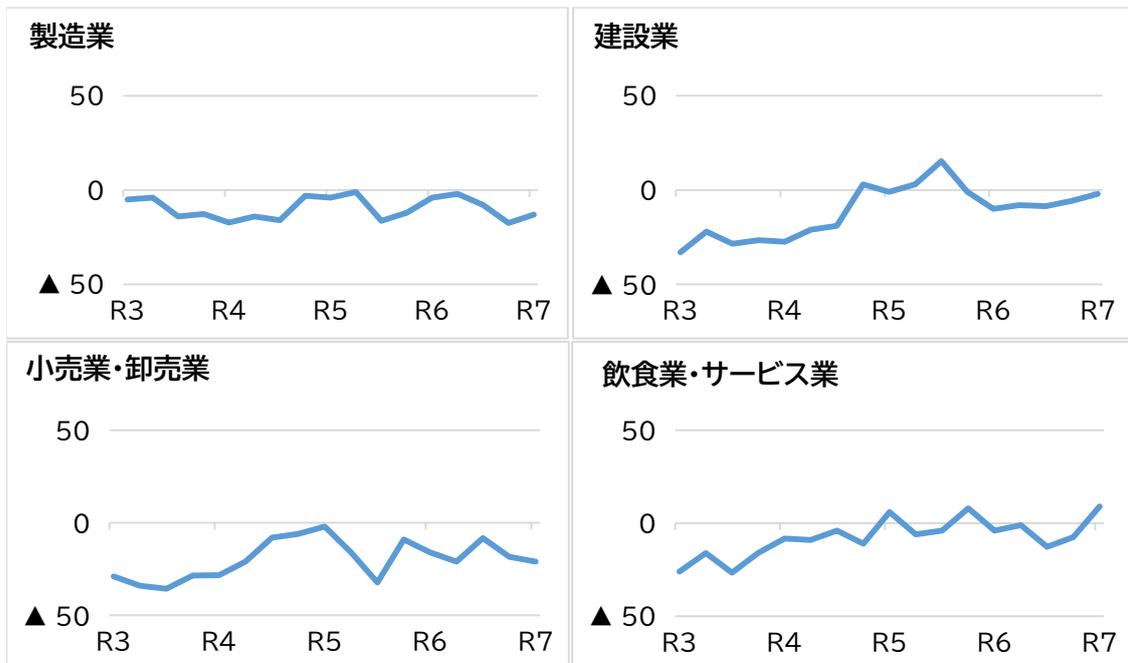
全産業の売上DIは、▲3(前期差8ポイント増)と改善しゼロに近づいた。
 産業別にみると、飲食業・サービス業が9と非常に好況であった。建設業も▲2と上昇した。
 製造業は▲13、小売業・卸売業が▲21と、改善は遅れている。
 全国と比較すると、飲食業・サービス業と建設業は全国の水準を大きく上回っている。製造業と小売業・卸売業は全国よりやや低い。

(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

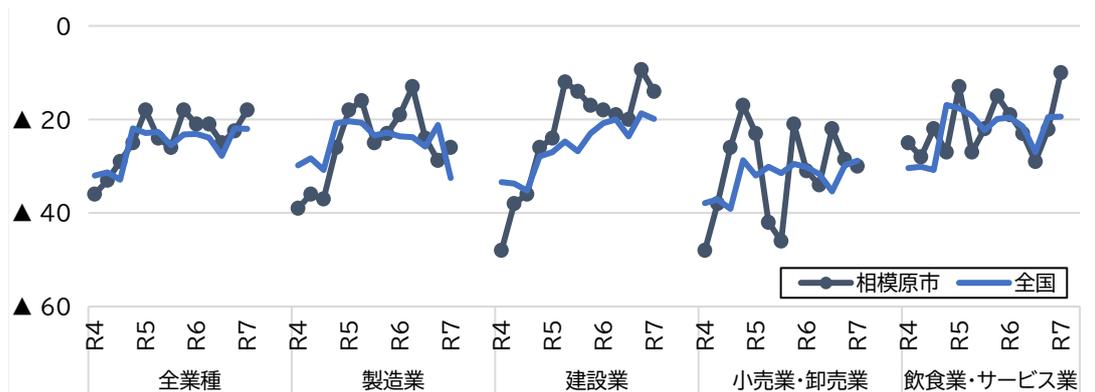
参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、▲18(前期差4ポイント増)で、前期に引き続き改善した。
 産業別にみると、飲食業・サービス業は▲10で大幅に改善した。建設業は▲13と改善は一段落ついた。製造業は▲27と小幅の改善、小売業・卸売業は▲30と前期並であった。
 全国と比較すると、全業種でかなり高い水準となっている。

(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)

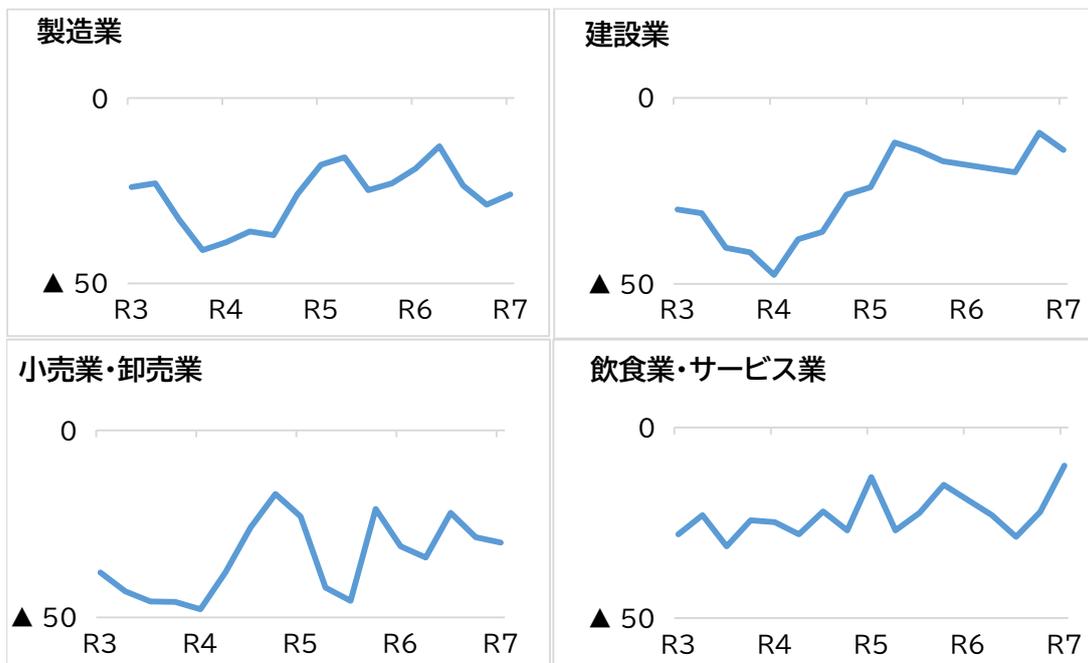


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

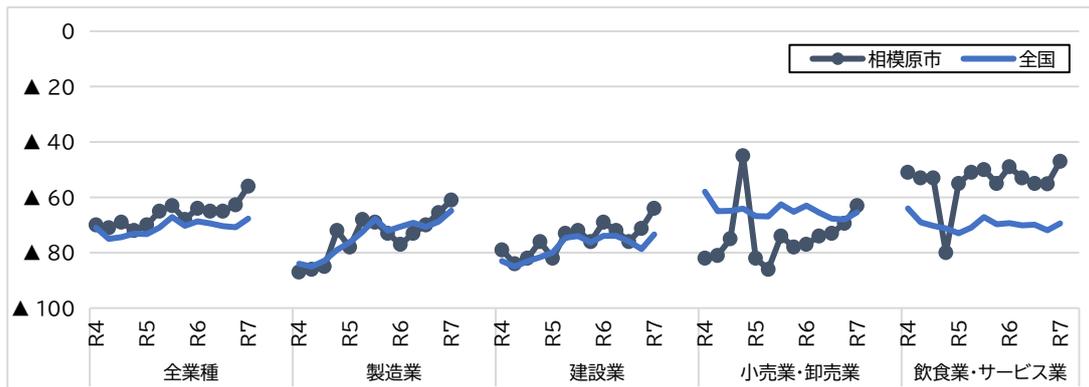
参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DI(前年同期比)の推移

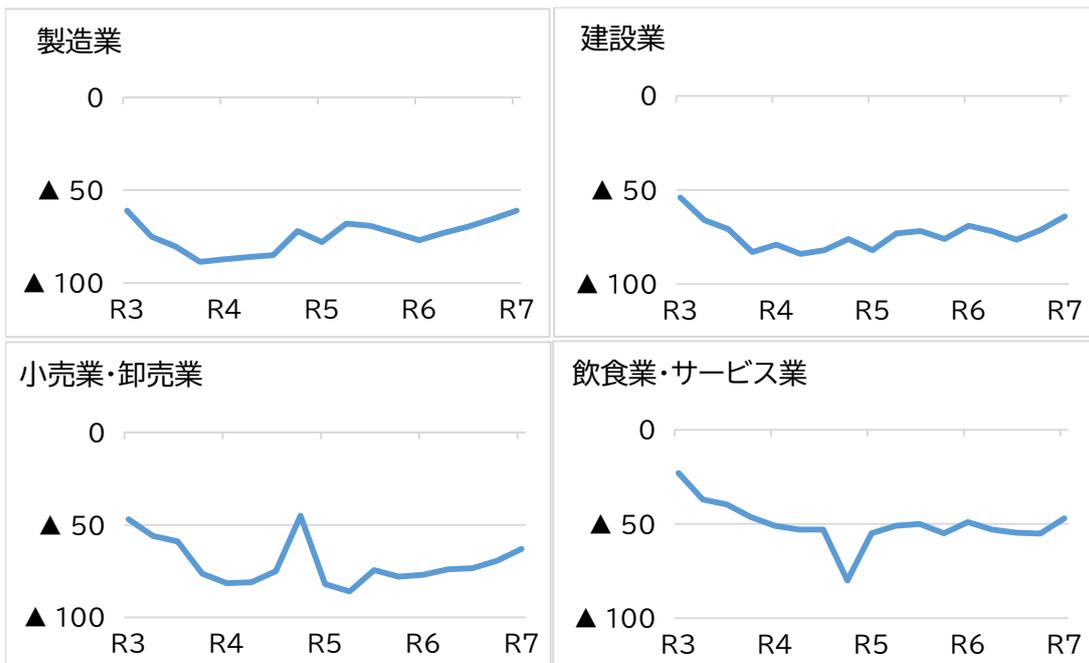
全産業の仕入単価DIは▲56(前期差7ポイント増)で、改善した。
 産業別にみると、飲食業・サービス業が▲47、建設業が▲65、製造業が▲60、小売業・卸売業は▲63全業種で改善した。
 全国と比較すると、全業種で全国より高い水準となった。

(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

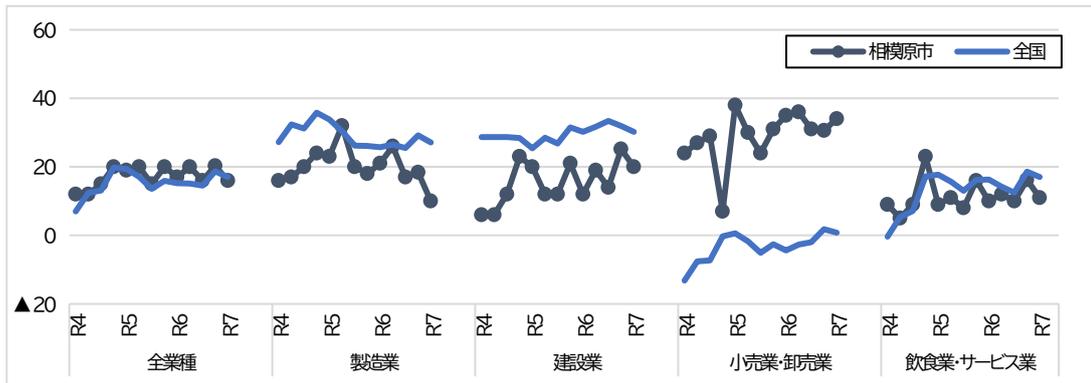


販売単価DIの推移

販売単価DI(前年同期比)の推移

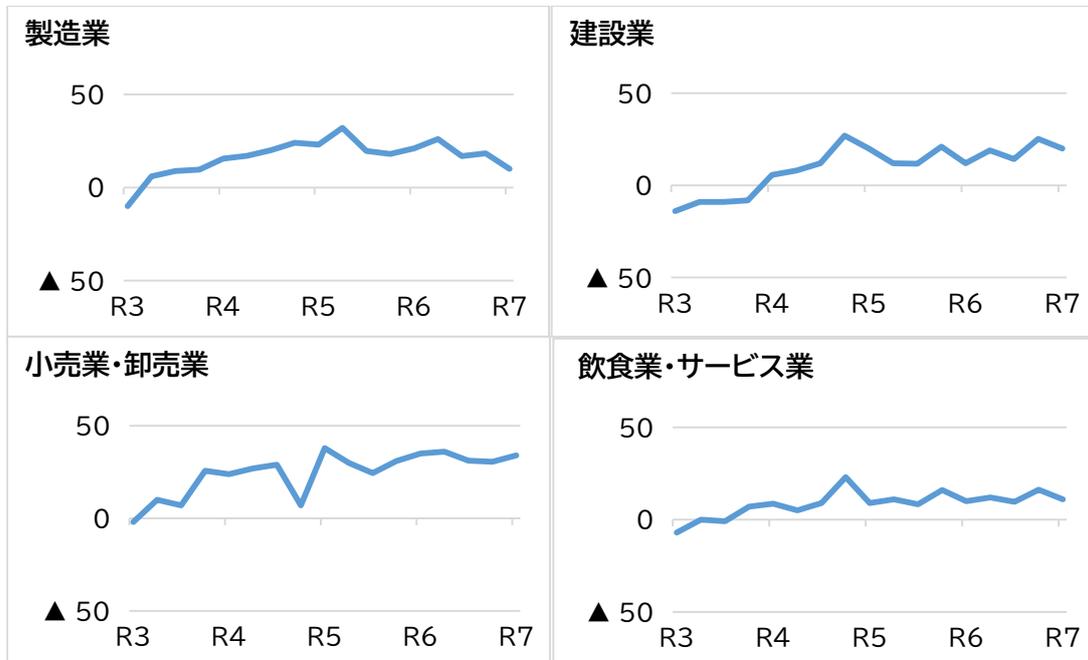
全産業の販売単価DIは、16(前期差4ポイント減)と、前々期並みに低下した。
 産業別にみると、小売業・卸売業が34でやや改善したが、建設業が21、飲食業・サービス業は11、製造業は10、でいずれも若干の悪化であった。
 全国と比較すると、製造業と建設業は全国よりも低い水準が続いている。小売業・卸売業は、全国よりもかなり高い状態が続く。

(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所LOBO/建設業令和7年6月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

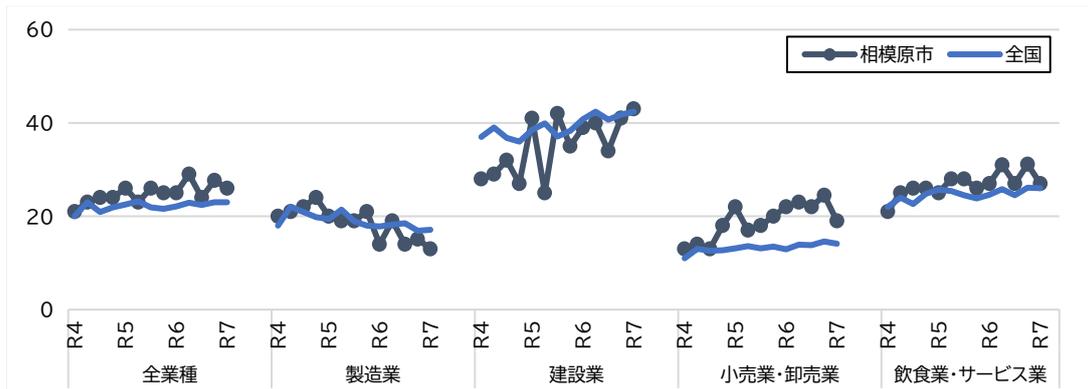


従業員DIの推移

従業員DI(前年同期比)の推移

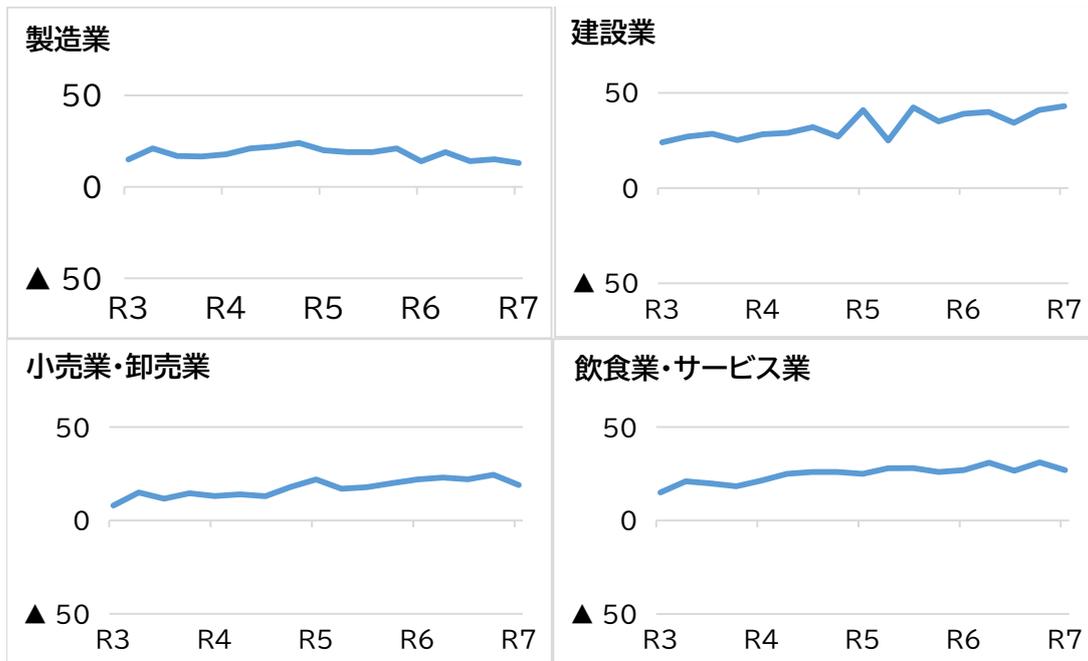
全産業の従業員DIは、26(前期差2ポイント減)で、前期とほぼ変わらなかった。
 産業別では、建設業は43と小幅の改善で、飲食業・サービス業は27、小売業・卸売業が19、
 製造業は13、とやや悪化した。
 全国と比較すると、特に小売業・卸売業で当市の方が、人手不足感が高い。

(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査
 ※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

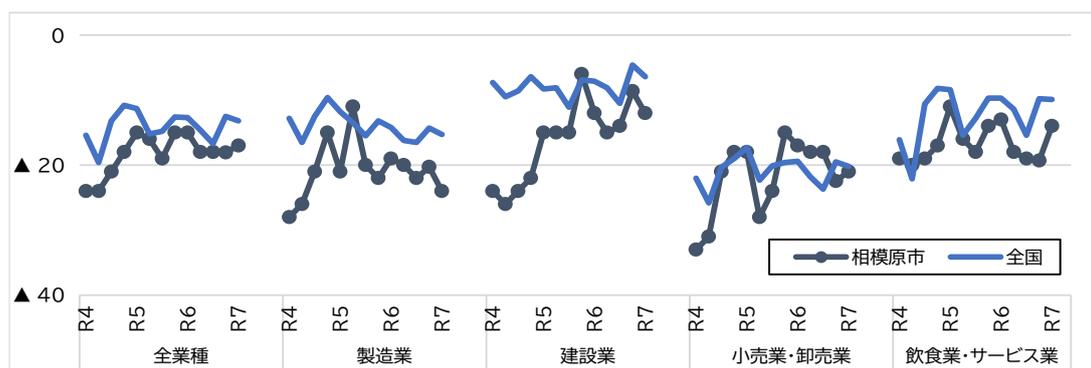
参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲17(前期差1ポイント増)で、ほぼ横ばいだった。
 産業別にみると、飲食業・サービス業は▲14で改善した。小売業・卸売業は▲21で小幅の上昇であった。建設業は▲12、製造業は▲24でいずれもやや悪化した。
 全国と比較すると、すべての業種において、当市のほうが全国よりやや低い水準だが、特に製造業で差が大きい。

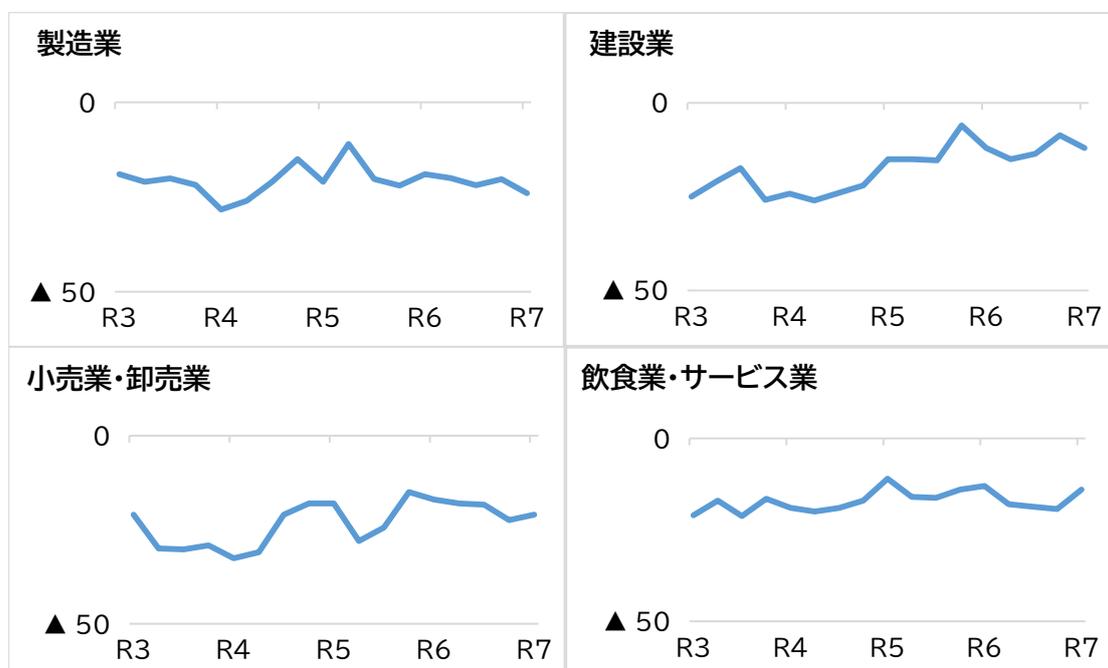
(令和4年7-9月期～令和7年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

		今期(R7.7~R7.9)				次期見通し(R7.10~R7.12)				
		売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	
製造業	売上	サンプル数	38	77	60	175	32	98	45	175
		構成比	22	44	34	▲13	18	56	26	▲7
	採算	サンプル数	19	91	65	175	18	115	42	175
		構成比	11	52	37	▲26	10	66	24	▲14
	仕入単価	サンプル数	1	67	107	175	3	96	76	175
		構成比	1	38	61	▲61	2	55	43	▲42
	販売単価	サンプル数	34	125	16	175	22	141	12	175
		構成比	19	71	9	10	13	81	7	6
	従業員	サンプル数	29	140	6	175	30	138	7	175
		構成比	17	80	3	13	17	79	4	13
	資金繰り	サンプル数	6	121	48	175	7	138	30	175
		構成比	3	69	27	▲24	4	79	17	▲13
	業況	サンプル数	12	93	70	175	11	115	49	175
		構成比	7	53	40	▲33	6	66	28	▲22
建設業	売上	サンプル数	31	75	34	140	31	83	26	140
		構成比	22	54	24	▲2	22	59	19	4
	採算	サンプル数	22	77	41	140	20	91	29	140
		構成比	16	55	29	▲14	14	65	21	▲6
	仕入単価	サンプル数	2	46	92	140	0	65	75	140
		構成比	1	33	66	▲64	0	46	54	▲54
	販売単価	サンプル数	36	96	8	140	31	99	10	140
		構成比	26	69	6	20	22	71	7	15
	従業員	サンプル数	63	74	3	140	54	85	1	140
		構成比	45	53	2	43	39	61	1	38
	資金繰り	サンプル数	11	101	28	140	8	111	21	140
		構成比	8	72	20	▲12	6	79	15	▲9
	業況	サンプル数	18	87	35	140	15	95	30	140
		構成比	13	62	25	▲12	11	68	21	▲11
小売業・卸売業	売上	サンプル数	22	39	44	105	26	48	31	105
		構成比	21	37	42	▲21	25	46	30	▲5
	採算	サンプル数	11	51	43	105	10	61	34	105
		構成比	10	49	41	▲30	10	58	32	▲23
	仕入単価	サンプル数	3	33	69	105	2	42	61	105
		構成比	3	31	66	▲63	2	40	58	▲56
	販売単価	サンプル数	46	49	10	105	43	55	7	105
		構成比	44	47	10	34	41	52	7	34
	従業員	サンプル数	24	77	4	105	22	77	6	105
		構成比	23	73	4	19	21	73	6	15
	資金繰り	サンプル数	5	73	27	105	6	72	27	105
		構成比	5	70	26	▲21	6	69	26	▲20
	業況	サンプル数	6	56	43	105	8	67	30	105
		構成比	6	53	41	▲35	8	64	29	▲21
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	98	133	72	303	85	162	56	303
		構成比	32	44	24	9	28	53	18	10
	採算	サンプル数	52	169	82	303	52	182	69	303
		構成比	17	56	27	▲10	17	60	23	▲6
	仕入単価	サンプル数	4	153	146	303	6	177	120	303
		構成比	1	50	48	▲47	2	58	40	▲38
	販売単価	サンプル数	56	225	22	303	38	244	21	303
		構成比	18	74	7	11	13	81	7	6
	従業員	サンプル数	90	206	7	303	80	221	2	303
		構成比	30	68	2	27	26	73	1	26
	資金繰り	サンプル数	21	219	63	303	23	230	50	303
		構成比	7	72	21	▲14	8	76	17	▲9
	業況	サンプル数	38	181	84	303	40	195	68	303
		構成比	13	60	28	▲15	13	64	22	▲9
全業種 総合	売上	サンプル数	189	324	210	723	174	391	158	723
		構成比	26	45	29	▲3	24	54	22	2
	採算	サンプル数	104	388	231	723	100	449	174	723
		構成比	14	54	32	▲18	14	62	24	▲10
	仕入単価	サンプル数	10	299	414	723	11	380	332	723
		構成比	1	41	57	▲56	2	53	46	▲44
	販売単価	サンプル数	172	495	56	723	134	539	50	723
		構成比	24	68	8	16	19	75	7	12
	従業員	サンプル数	206	497	20	723	186	521	16	723
		構成比	28	69	3	26	26	72	2	24
	資金繰り	サンプル数	43	514	166	723	44	551	128	723
		構成比	6	71	23	▲17	6	76	18	▲12
	業況	サンプル数	74	417	232	723	74	472	177	723
		構成比	10	58	32	▲22	10	65	24	▲14

集計表(トピックス)

製造業
昨秋から売上が低下するとともに撤収になる作業がいくつかあった。人件費の増加も響いて採算が悪化した。現在は持ち直しつつある。単価の見直し交渉を進めている。また新規取引先開拓の必要性も実感している。【製造業】
4-6月と特に不変予定。【電気機械器具製造、ワイヤーハーネス製造】
8月の売上は去年に比べ半分に。月によって異なりますが、仕事が減っていると実感しています。【コンバーター設計製作】
アメリカの関税による、輸出品の減少。【医療器、半導体、自動車、計測器などの精密板金部品製造】
アメリカの関税上昇による収益悪化が懸念される。【インサーキットテスタ、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテスタ】
インフレを無理に誘導していて、個人消費が上がりず不景気になっているように感じます。問題はスピード。賃上げも、もっとゆっくり誘導すれば歪みも少なくなるように思います。【段ボール製品の製造加工販売】
ここ数期、特に大きな変化はなく、支出入・今後に向けての引き合い、ともに低いラインで推移している。【機械加工】
トランプ！世の中を引っ掻き回すな！！【板金加工物の製造】
トランプ関税による影響。【切削工具製造及び再研磨】
トランプ関税による影響で景気低迷。【木箱、梱包箱】
トランプ関税による世界経済の不透明感の増加。【プレス機械の製造・販売・修理】
トランプ関税の影響。【産業用機械部品製造業】
トランプ関税の影響が不透明。【自動車用オイルフィルター部品】
トランプ関税の影響が予測不可能で、景気後退が懸念される。最低賃金上昇や食品値上りも売上でカバーしきれない。【空圧制御バルブの製造販売】
トランプ関税の影響を心配していたが、現状は大きな影響は出ていない。今後を注視する必要があると思慮している。【輸送用部品製造業】
パートタイマーの高齢化及び103万の壁に伴い出勤日の減少が人手不足の要因となっている。また売り手市場の採用状況により、募集しても応募が少なく、募集方法の見直しが必要となっている。【粘着製品の製造・販売】
ユーザーである、金属加工業の解散及び倒産。【切削工具製造及び再研磨】
悪い。先が見えない。公務員給料は上がっても庶民に使われない。消費税インボイスで貯金も無くなり。国内消費優遇し、日本製は日本人が購入に大幅な補助や割引を政府が支持して欲しい。【畳】
一番多く売り上げる製品が客先を通して米国に出荷される為、関税に関連して生産計画がどうなるかが心配。【電子回路設計／製造／販売】
下請法の改正、賃金上昇。【電気機械器具製造】
景況感は悪いです。【精密板金】
原材料単価の上昇。【トラックの架装】
雇用状況(高齢化)。【基板検査装置、治具の販売、製造及び付帯サービス】
高校卒業者の採用が困難となっている。【臨床検査薬の開発、製造、販売】
高齢化に加え、取引先の方針変更による受注の低迷。【検査梱包】
採算悪化傾向にあり、設備投資ができない。老朽化した設備を修理しながら使用しており効率化の改善も難しい状況。【建設機械製品(シールド機、スチールセグメント)】
材料費、消耗品費の高騰は一時より落ち着きが出ているが、この先不安感は拭えない。ここ1年は従業員の動きもなかったが、ここで2名退職者が出るため、補充が即できるかが問題。(通年で募集をしているが、反応があまりない状況であるため)。【自動車部品製造業】
仕事が減っている。【金属熱処理】
仕事量は変わらないが、売上単価の減少が顕著で、業態変革が急務。【総合印刷出版】
仕事量減、仕入価格激増、得意先からの値下げ要望多数、得意先への価格見直し不十分。【段ボール製函紙器一式・包装資材販売、子供用段ボール家具】
仕入・諸経費増加分の価格転嫁不足。【自動包装機械・省力機械及び包装プラントシステムの設計・開発・製造・販売】
仕入面、諸経費での収益率改善見えず、既存受注の動向に先行きゆだねる状況。【半導体製造装置向け、精密板金製品の製造】

自動車の売り上げ。トランプの影響。【ダイカスト製品の良品支援装置、ランナー加圧装置、新局部加圧装置】
取引案件の減少、取引先の少なさ、来期見通し、不透明感。【エアベアリングを使用した精密機械器具の製造、販売、修理】
受注の減少と経費の増加。【精密部品の製造】
受注減の状況が続く、先の見通しが立たない。【基盤加工用機械の部品加工】
受注個数少数。【製造業】
受注量の減少。【真空装置の部分品加工】
受注量不足、仕事がない。【プラスチック加工業】
受発注の状況・雇用状況。【製造業】
需要と供給などの一般的なビジネスロジック以外の外部要因(関税他)による不透明さ。【精密プラスチック部品製造業】
食材の値上げ、最低賃金上がる等、中小企業経営者はこの先不安しかない。気温上昇に伴う、気候変動の影響も著しい。【弁当、総菜製造業】
新規製品は減少、メンテ改造、更新等は増加傾向と思われる。【工場生産設備の組立、制御盤設計製作】
新卒採用苦戦。【金属製品加工】
人員不足。【制御盤の制作やケーブル加工】
人件費の上昇。【紙加工品製造販売】
人材不足。【テーブルスポット溶接の設計、製造、販売】
人手不足。【金属製品塗装業】
製造業の市場の動向がにがい様を感じる。【金属の表面処理】
製品需要の瞬間的な減少がある。【産業用モータ制御装置の製造・販売】
設備の予期せぬ故障が増えている。【ねじ、ボルト(車輛用)】
前期までに比べ、好転しているかと思いますが、製造業全体として仕事量が不足している感があります。【精密機械金属加工】
全体的に5月～受注が減少傾向、一部取引先の受注が激減(40%減)。【工業塗装】
中途採用、新卒採用共に厳しい状況。【製造業】
注文が減ってしまっている。原因が、不明。【シャフト、ベアリングケース】
道路系設備会社の売上げ不振。【電気・電子部品の受託開発設計及び製品の少数生産】
得意先の減少、値上げは売上、仕入に関して適合している、外部の影響が著しく利益を下げている。【紙製品、化成品】
日産や米国の今後の動向の影響。【輸送機器等のネジ製造】
半導体業界(生成AI)は設備投資が非常に盛ん。【精密機器製造】
半導体製造装置及び産業機器用設備の不況感。【金属の切削加工業】
不況感。【精密部品の金属加工】
物価高による部材、加工費などの高騰。【工業用自動機の開発・製造・販売】
米関税。【角型紙管、ペーパーアングル、板紙製造販売、シリカゲル等吸着剤の充填販売】
未注文顧客の増加。【精密板金】
民間工事施工遅れによる、電線受注量減少傾向。【電力機器、配電機器、免震、制振、制音デバイス、精密デバイス】
猛暑。来店数も減るが、働く側の気力も失われる。【和菓子】
輸出案件不透明であり弱含み傾向。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】

建設業
人材(技術者)不足による機会損失。【電気設備工事業】
コスト高について景気の不安感あり。【総合建設業】
とにかく人手不足。元受業者、下請業者共。弊社にもたまに応募があるが、条件折り合わず。【給排水・衛生設備工事、空調・換気設備工事】
下請業者や職人の高齢化等により確保が厳しい。【建築工事一式】

景気感が不安定。【カーテン】
建設業においては昨年下期に前倒しや集中があり、今期上期～下期前半は売上減少見込み。また広く求人しているが充足しない。居宅介護支援においてはケアマネの高齢化が大きく人員の入替を考えると収支圧迫。【クリーンルーム、居宅介護支援】
雇用。【総合建設業】
雇用状況。【宅地造成業、舗装工、外構工事、建築業】
雇用状況・従業員不足。【管工事・電気工事】
雇用状況が課題。【測量・墨出】
顧客が設備投資をしない為、工事発注が無く受注出来ない。【電気工事業】
顧客対応による人件費が増加。【リフォーム】
工事原価、外注費の上昇。【内装リフォーム】
高齢社会で若年層の採用が難しい。【住宅基礎】
国の補助金が今期で終わるため、来季への不安がよぎる。【エクステリアの工事・販売】
国内建設市場は都市部の再開発や半導体事業の生産施設など旺盛な需要が続いている一方、建築技術員や技能労働者が逼迫している。さらに、時間外労働に関する上限規制が適用されたことにより、労務不足が顕著となっている。【土木、建築工事請負業・不動産事業】
今後、公共工事及び民間工事の発注が減少傾向の見込みであり、受注件数も大幅に減少すると推測されます。今般の金融情勢とは逆に各業種全般に景気の動向が向上かないように感じられます。【土木・建築の施工】
材料単価が上昇して、民間工事が減っている。【重軽量鉄骨製作取付】
仕入価格の上昇。【造園・土木工】
資金繰りの悪化。【リフォーム】
資材、人件費とも上昇しているが、元請ハウスメーカーの発注金額がそれに見合う単価になっておらず収益が悪化している。【外構エクステリア】
社員の応募に反応がない。【空調設備工事】
社員の成長が悪い。【空調工事】
諸経費の高騰や、収益率の低下で経営は厳しくなると思われる。【とび・土工事業】
消費の低迷。【塗装・防水工事業】
職人の高齢化、及び不足。【エクステリア施工販売】
人員確保が困難です。【測量、大土工事業】
人員不足、作業員の高齢化。【建設現場の電気工事及び管理】
人材が不足。【土木作業】
人材の不足と大手企業からの値下げが重なり、売上げが減少した。また、造園業の全体の単価の低さが原因で継続することが困難である。【造園業】
人材不足。【電気工事業】
人材不足と物価上昇。【土木建設業】
人手不足。【電気設備・空調設備工事】
人手不足。【土木工事業】
人手不足。【電気工事業】
人手不足、仕入単価の上昇。【総合建設業】
相模原市の入札制度への疑問・不満。【土木工事業】
大きな変化はなし。【橋梁等のメンテナンス】
賃金の上昇がニュース等で報道されていますが、工事費の増加が出来ないのが現状です。物価高もあり、収益減少。【改修工事に伴う厨房機器搬出搬入、厨房機器入替、厨房機器修理】
特に何か記する事項はありませんが、全体的に変な感じや、すっきりしない状況。。【管工事業】
特に無し。【公共工事 住宅建設】
八王子市から相模原に会社を移動しました。市からの平等な入札声はあがりません。(登録しても)基準がわかりません。【建設業】
不動産関係を判断すると地価価格が上昇して取引関係が少なくなっている。【建設業】
物価高。【建設業】
補助金関係で受注しやすくなっている。【建具工事業】

民間の工事単価はなかなか上げづらいです。【大規模修繕工事】

小売業・卸売業
個人消費の低迷から厳しい状況が続く。【地方卸売市場(青果)の運営】
トランプ関税による自動車業界の予算が減少。【X線部品】
円安の影響によりメーカー側の仕入単価の上昇による利益の低下！！【九州特産物の販売】
株価は上昇しているが、それに見合った景気の良さが感じられない。【エアコンプレッサー及びその周辺機器の卸売(一部製造)】
業界、業種毎に個客売上に明暗がはっきりしている。メキシコ、カナダ向輸出品の納期後倒し要請有。【産業・工業用ゴム樹脂、金属製品の販売】
経費、仕入額の上昇に伴い、利益率を上げていかなければ経営が厳しい。【IT 機器、オフィス家具、事務用品】
建設業界全般の人手不足。それに伴う工期の遅れや工事の絶対数が減少していると感じ、当方業界の売上の足枷になっているのでは？と思ってしまう。【卸売業】
現材料費の高騰。【介護食品の開発&販売】
個人消費の低迷、顧客の若返りが難しい。【衣類、健康食品、化粧品】
国の農業政策が不透明。【精米・玄米販売】
国産原料の価格高騰。【菓子原材料卸売り】
資金繰りが追い付かない。換価の猶予(社保・消費税)の返済(※コロナ分)。【青果卸売】
若い社員が入ってこない。【住宅設備機器】
常に波の激しい事業で有るため、今期の不振は来期以降取り返すよう行動せねばならない。【省庁向け資材・機材の企画開発・販売、インターネットショッピングモール内店舗運営】
新規事業がふえた。【健康食品卸売】
生活必需品の値上げにより、嗜好品に属する花きは消費が低迷している感じがする。一方で高温や水不足などの天候と件により、仕入れ単価は上がり続けていて、収益を上げにくい環境になっている。【花き】
地域として景気がよくない。【卸売業】
売上・利益率が低下している一方で、税金・経費の増大で仕事をしている意味が分からなくなってきた。顧客の購買意欲が低下している上で資金に余裕が無い会社が多く必要な物も購入を見送るとの話も良く聞くようになった。【文具・事務用品・什器・事務機器全般】
弊社を含む業界の繁忙期が7~9月であるため、売上高は前年度に比べて上昇しているが、10月以降の受注予定案件が見えず、後期の売上や収益に対しての不安がある。【業務用厨房機器の販売及び設置業務】
米国の関税。【工業用ねじ類販売総合商社】
コスト上昇。【食品(飲料中心)販売】
まだ、渋い。【たばこ酒、飲料】
悪化するタバコ販売減少、印紙等もインターネット等の影響で悪い。【タバコ、印紙、切手】
個人消費が低迷しているので中古品等が良いと思われる。【中古衣料品販売】
個人消費の低迷が原因か、Eコマース部門の売上減が続いている。加工、外注単価の上昇もあり、厳しい経営状況となっている。【健康食品の小売、卸売】
高齢化による販売先の減少。仕入価格の高騰に対し、販売価格も高騰していますが、消費者の方の負担が増えるので、節約意識が高まった結果がどの程度売り上げに響くか。【LPガス、灯油、住宅設備機器販売工事】
仕入先の減少。【食品】
仕入単価の高騰、買い控えあり。【小売業】
仕入単価上昇につき、販売単価上昇により顧客離れが進む。【乳製品の宅配】
社員の高齢化。【LED照明、空調機器、防犯カメラ、一般家電】
従業員の給与を上げて、税で引かれる部分が多いのと、物価高についていけない。販売価格を上げないといけないので(仕入高)お客様の買い控えを感じる。【家電、住宅設備機器、工事】
商圈個人消費低迷の中、地域社会の平和的多様性を遠くの施設を謳歌すること多し。【米穀酒類食飲料雑貨】
地球温暖化、トランプ政権等の影響で社会不安で日常生活に不安を感じている人々が多く見受けられま

す。眼鏡補聴器などは、二の次、買物後回し、来客数減少しています。公共料金や税金も上がっています。生活保護受けている人も悲鳴が聞こえています。何とかしてほしい。【眼鏡、補聴器、コンタクトレンズ】
同業者(商社)の状況を確認するがどこも弊社と同じ受注が伸びてこない状況で、以前のリーマンショック時期の再来のように感じている。弊社の顧客もまだ部品在庫が余っている為、受注増の兆しが見えない。【電子部品(コンデンサ等)卸売販売(商社)】
不景気、購買意欲の低下、今後の先が見えない。【釣り具販売】
物価高による個人消費減、客数・客単価の影響が出ている。【ホームセンター、日用品・園芸・ペット・DIY用品家電等の販売及びリフォーム工事】
米国政権方針による、世界景気の不安定状況。【自動車販売業】
老人世帯ばかりで次の世代がその家を継がない為、空き家が増加。【LPガス、灯油、住宅リフォーム】

飲食業・サービス業
「景気回復のメド」「価格高騰の下げ止まりの状況」。【お好み焼き店】
25%関税、コンプライアンス等は小さい飲食店には関係が少ない。【酒、刺身、煮物、サラダ他】
8月からまた値上げ 仕入れ物価上昇が止まりません。物価上昇に伴い、一般消費者の消費低迷で売上不振。【居酒屋】
コロナから変化なし。【そば、うどん、和食】
客単価に対する原材料価格高騰のギャップ。【料理の提供全般】
原価、人件費増加。【飲食店経営】
原価上昇と人件費上昇による利益減少と境的な雰囲気が悪化、増税のメディア風評被害など関税関税と不透明なニュースが多く、精神的な国民へのいじめも原因となっていくと思う。【居酒屋】
仕入が上昇、人材不足による営業日調整など。【ラーメン店】
仕入れ値が上がりすぎて、値上げしても追いつかない。賃金が上がりすぎて、経験・能力のないアルバイトを雇うのが苦しくなっている。【カフェ】
仕入価格高騰、人件費増加傾向。【中華料理】
仕入単価の上昇が痛い。【飲食業・宿泊業】
仕入単価上昇。【飲食業・宿泊業】
周知の徹底が今後を左右すると感じています。【Cafe bar】
従業員を募集してもなかなか条件に合う人が見つからない、アルバイトも思ったように集まらない。【居酒屋】
暑すぎて外出が減っている。【生ジュース調理、販売】
食材費、特に政府農林水産大臣のコメントで『米の販売価格が、3,000円代になる』ように言っていたが、現状まだ4,000円代であり、その分を補填して欲しい位です。【居酒屋経営】
運賃が不変なのに仕入れ単価、人件費が上昇、切り詰めるものがない。【自動車部品】
今期も人手不足で、トラックが空車で維持費が多い。【住宅資材、現場搬入】
仕入単価の上昇。【貨物軽自動車運送事業】
従業員の権利主張が強すぎて、労働力の不足につながるケースが多いです。【運送業】
乗務員の募集に対し応募が減っている。【一般貨物運送事業、倉庫業】
人員の不足、労務費の上昇が深刻、又外国人の土地投機による地価の高騰はより深刻で車庫等を維持する事が大変難しくなっている。これは、車庫を賃貸している大半の運送会社がかかえる問題ではないでしょうか？現在の既存の場所から他所に移れば人員の不足に拍車をかけることになり、より深刻だと思います。【運送業】
人員不足、退職者増加、求人を出しても全く来ない。【路線貨物、リネン品】
中国経済の衰退、サプライチェーンの混乱、トランプ関税による影響。【こん包業】
日産自動車の業績悪化の影響を大きく受けている。また、公共工事・民間工事の新規着工件数が減少している印象がある(既存現場の工期延長、建設職人の人材不足が影響)。そのため、建設資材の運送がこの間減少している。【一般貨物自動車運送事業】
燃料税、軽油税状況。【運輸業・倉庫業・梱包業】
米国の関税影響。【国内・海外向けサービス部品の調達・出荷】
輸出向け梱包、木箱の減少。【梱包業、輸出木枠梱包、パレット製作】
要員確保が最大の問題です。【企業送迎バスの運行】

AIの普及によりスキルシフトできない社員が活躍する場所がなくなってきたこと。【受託システム開発、技術者派遣、SaaS】
ネットでのサービスや集客に力を入れていくようなクライアントさまが増えていると感じています。【ホームページ制作、Webシステム開発】
案件が重なる事により、次期のための営業に時間を割けず、コンスタントな案件獲得の困難さを実感。【Web制作、グラフィックデザイン制作、ブランディングデザイン】
新規が増えてきたが単価がまだまだ安いので価格設定を見直したい。【デザイン制作、HP、ブランディング&マーケティングサポート】
人口減少による消費行動の変化。【受託ソフトウェア、システム運用保守、技術者派遣、SaaS】
世の中の給与アップ傾向にお客様が協力的。一方で、夏前から契約単価は下落傾向。【ソフトウェア開発、システム構築】
無料AIによるイラストやグラフィックデザインが広がりを見せ、ヒト=デザイン専門職の領域に入ってきたこと。【編集・グラフィックデザイン・印刷】
すべての経費が値上げ傾向にある。値上げ値上げ。円安のため、デフレの時代に、最低賃金の値上げ、就労時間等情勢と遂行した政治政策がとられている。【宅地分譲企画販売、売買の仲介、賃貸管理と仲介】
トランプ関税が今後どうなるか。【不動産賃貸】
リフォームするための設備品が全て高い。【売買仲介、管理、買取再販、家賃収入】
各物価上昇(人件費含)。【不動産賃貸・管理】
顧客の減少が続き売り上げの減少が今後続くと思います。【清掃用具レンタル及び販売】
工事費の上昇で、不動産活用が不振。【仲介業、権利調整、不動産コンサル】
住宅取得減税がなし増税されている。【不動産業・物品賃貸業】
所持している施設がおおむね老朽化の傾向にあり、修繕維持費用に多額の資金が必要になっている。【不動産賃貸借等】
人を増やしたいが、資金的な余裕が無い。【グリーンレンタル】
人材不足。【分譲、注文】
土地建物の売れ行き不振。賃貸物件仲介の不振。【売買と賃貸の仲介】
特になし。【不動産管理・仲介】
貧富の格差は大きくなっているように感じます。日常的には人の出も多く飲食店等は混雑しているように見えますが、必要最低限にも見えます。不動産・自動車購入のような大きな買い物ができる人は減っていくように感じています。【不動産売買・仲介】
不動産に限って言えば、購買層が二極化しており、外国人が富裕層しか購入できない状況になっている。【不動産仲介業】
物価高・金利高によって実需層の動きが止まっている。その為商品の回転も止まり資金繰りに影響が出始めている。【不動産買取再販・管理・仲介】
物価上昇、仕入れ単価上昇。【不動産売買、不動産賃貸】
物価上昇影響によるテナント営業の客単価上昇はひとまず落ちつきつつある。【ショッピングセンター運営】
物件が動かない。【不動産仲介】
スタッフ不足の為、どこまで売り上げを上げれるか不安に感じて。【ネイルサービス】
タオル関係やシャンプー関係の仕入れ値の上昇。かなり厳しい。【一般理美容】
レジャー控え感がします。【ボウリング場経営】
為替の不確実性、政治不安。【旅行業】
高齢化の客(お客様・自身も)来店しなくなる。【美容業】
暑すぎて日中人が出てない。【理容業】
販売単価の減少。【葬祭業】
猛暑日が多く、また雨も少ないためコースメンテナンスに苦慮している。【ゴルフ場運営】
来客数が多変少なくなった。【美容技術一般(パーマ・カット・ヘアカラー・着付等)】
電気、電子メーカーの新製品の開発が下降してきている。【電気メーカー、電子機器メーカーの電子機器開発請負業】
パソコン利用による業務の増加、職安、年金事務所関係の処理に慣れてきたが、当方の事務処理時間の増加が大きく、経費節減に結び付かない。【社会保険労務士】
最近日本は新規開発が停滞している。【電気機器開発設計請負業】
参議院選挙後に国土強靱化のトーンがさがったのではないかと。【航空写真測量】

<p>まだライセンス契約には繋がっておりませんが、弊社特許についての理解が少しずつ拡大&深まっていると感じています。KISTEC(神奈川県立産業技術総合研究所)の依頼による特許の講演実施、KIP(神奈川県産業振興センター)主催の新事業創生展示会の審査にも通過し、11月には某様本社の展示会に出展することになりました。海外から投資したいという話は、継続的にきており、M&Aの提案も何件かいただいております。弊社特許は産業の変革というより、世界を変える「次にくる AI」であると認識しておりますので、引き続き丁寧に「自律判断ができること」「人の判断に依存してきた業務の AI 化が可能」であること・他、従来の AI を超える成果創出の内容と意義を伝えていきたいと考えております。【IT/AI導入コンサルティング】</p>
自動車業界の低迷による影響への懸念。【機械設計】
主要な顧客の業界全体の景気が落ち込みつつあること。【経営コンサルティング、有料職業紹介】
従業員不足について、業界全体の問題であるため解決する見込みがない。【建築設計】
専門職人材高齢化。【工場内設備の様々な困りごと相談、自動化省人化協人化プロデュース】
売上の減少が見込まれる。【司法書士】
物価上昇の懸念。【社会保険労務士業】
米国による関税の問題、AI を除く半導体の長引く調整。【半導体製造装置の設計】
与党の弱体化で経済活性化への税金投与の減少、温暖化緩和処置に逆行した燃料減税、少子化対策のばらまき、場当たりの物価高対策で、結局は国の債務上昇懸念。【プレス機械関連の自動化・システム化と安全評価、品質保証活動】
10月よりまた最低賃金の見直しが過去最高の上げ幅で合意したようだが、中小企業経営者には(価格転嫁出来ない)倒産せよと言っているようなものだ。早急な支援策が望まれる。【警備業】
DX化の推進、人材の採用と育成。【経理・人事業務のシェアドサービス】
企業からの要望人材の確保が困難。【人材派遣・人材紹介】
景気が良いか悪いかわからない。会社側ではなく勤務している人達が、値上げ品が多くて大変なだけ。弱い者いじめ。【オートバイ出張メンテナンス】
景気感はやや慎重ながらも受発注は概ね安定しており、スタッフの生活コスト増や働き方への意識変化が今期の特徴です。当社では、スタッフの待遇改善や職場環境整備を中心に対応しています。スタッフには、米国関税の15%引き上げや原材料高、米・エネルギー価格上昇、生鮮食料品の値上がりなどが生活コストに影響しており、生活面や勤務条件に関する希望が多様化しています。定着率向上やモチベーション維持のため、待遇改善や研修・フォロー体制の強化を進め、今後も継続的に取り組んでいく方針です。当社の派遣事業では柔軟な人員配置と即応体制が引き続き求められています。【労働者派遣業、機械設計受託及び請負業】
個人消費の落込み。【資源廃棄物収集、運搬、処理】
雇用にあたり、家族経営にとっては環境整備が大きく必要となり、求人にも消極的になってしまう。【コンプレッサーの修理・レンタル】
雇用に関しては、募集をかければ応募がある状態であるが、働くことに対する向き合い方が時代の風潮とともに変化していると感じている。総じて、向上心がさほど見られなくなったと感じる。【廃棄物処理、再生資源卸売】
雇用環境の整備。【通信機器設置・保守・販売】
雇用状況の悪化(不足、賃金上昇)。【請負・派遣業】
最賃の引き上げ。【ビルメンテナンス】
最低賃金の上昇が大きく賃金体系の変更による収益率の悪化が懸念される。【人材派遣業】
事業を縮小して隠居仕事(マイペース)でやっていくので特に感じることはありません。【エアコンプレッサーの販売、修理及び維持管理の業務】
従業員の高齢化、慢性的人材不足。【ビル管理業、建物維持管理、貯水槽維持管理、室内空気環境測定】
従業員不足、人件費の高騰。【自動車整備】
新卒の採用が年々難しくなっている。【人材派遣業】
人手不足。人件費の上昇による利益圧迫。【警備業】
世界経済の不安定化。【自動車整備】
全てに於いての物価高騰の影響により、消費の低迷が危惧される。トランプ関税による今後の影響の懸念。【墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石材特殊清掃、世界文化遺産、指定文化財等の石造物】
相互関税により、国内に高い関税がかかるものはありますか？【その他のサービス業】
部材、資機材の高騰により、新規設備投資に足踏みをしている状況です。【高圧洗浄作業】

物価上昇。【電気工作物保安業務受託】
忙しい、人手が足りない状況がしばらくは続く予想されます。【立体自動倉庫を中心としたマテリアルハンドリングシステムなど周辺機器を含むメンテナンス、部品交換、改造工事】
令和7年4月期から7月期と同様の内容で、長年使用している機械等の老朽化で新たに購入の必要性がある。人材不足は続くばかりで同業他社も人材不足で人材確保の為、募集において最低賃金より高い時給額で掲載している。【ビルメンテナンス業、建築物内外の日常清掃、定期清掃、特別清掃等、害虫駆除、貯水槽清掃、給排水設備保守管理及び工事】
お取引先の売上大幅減。【従業員育成の代行】
パート従業員の時給上昇と時間制約。【多肉植物、野菜などの生産、販売】
引き続き従業員不足に悩む。【接骨院鍼灸院】
金利上昇局面にあり収益向上傾向。【銀行】
経費の増加による利益率の低下。【中小企業金融】
厚労省の時間単位報酬への変化。【障害福祉サービス】
国際情勢。【インキュベーションセンターの運営】
材料等高騰し収益率が下落している。【ディスプレイ業】
昨今の酷暑対策で旧設備の入れ替え等を検討する必要が出てきており、資金繰りの懸念が出てくる可能性がある。【障害者支援】
従業員の不足。【害虫駆除】
諸経費が増加している、人件費がかかる。【障害者福祉事業】
少子化。【大学案内等発送代行業務】
消費税をなくしてほしい。【学習指導、進路サポート、子育てサポート】
消費税を下げてほしい。戦争どころではない地球温暖化。世界が仲良くこれに対策していかないと地球がなくなる。【占い、リドンブランドの販売、カラーコンサル等】
人件費の高騰。【訪問看護】
人件費の高騰(賃上げの影響)。【障害福祉グループホーム】
同業者の進出が多くなり、集客が低迷しているか？【接骨院】
物価、人件費がどんどん上昇する中で、販売高には変化なし。【農業、野菜の生産、販売】
物価高。【鍼灸治療院】
物価高による高騰もあり人の動きも少なくなってきた。インバウンドは好調だが、それ以外は不景気な状況が続いている。利用数も減り物価単価も上がったことで赤字経営が続いている。【介護事業】
物価高騰、人件費上昇。【保育所運営】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=723)

	回答割合	
売上不振	32.4%	234
受注単価・販売価格の低下	8.3%	60
収益率の低下	28.8%	208
個人消費の低迷	13.8%	100
販売先の減少	9.0%	65
大型店の進出	0.8%	6
チェーン店等との競争激化	0.0%	0
公共工事の減少	4.0%	29
民間工事の減少	4.8%	35
仕入単価の上昇	39.6%	286
円安の影響	4.7%	34
円高の影響	1.2%	9
代金回収困難	1.8%	13
諸経費の増加	27.1%	196
従業員(含、臨時)が過剰	0.6%	4
従業員(含、臨時)が不足	32.2%	233
設備不足・老朽化	15.9%	115
特になし	7.5%	54

製造業

今回調査を見ると、「従業員が過剰」「従業員が不足」が増加し、「収益性の低下」「仕入単価の上昇」が減少した。製造業でのコスト高は徐々に緩和されているが、従業員の課題が多くなっている。

	R6年7~9月 n=209	R6年10~12月 n=204	R7年1~3月 n=178	R7年4~6月 n=212	今回調査 n=175
売上不振	44.5%	46.6%	52.8%	49.5%	50.9%
受注単価・販売価格の低下	11.5%	8.3%	9.6%	9.4%	10.3%
収益率の低下	33.5%	30.4%	31.5%	35.8%	29.1%
個人消費の低迷	4.3%	5.4%	2.8%	3.8%	4.0%
販売先の減少	10.0%	8.8%	9.6%	9.4%	8.0%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.0%	0.5%	0.6%	2.8%	2.3%
民間工事の減少	2.4%	2.5%	1.1%	4.2%	2.3%
仕入単価の上昇	48.8%	50.0%	54.5%	47.6%	44.0%
円安の影響	16.7%	13.7%	12.9%	10.4%	6.9%
円高の影響	1.9%	2.5%	2.2%	2.4%	1.1%
代金回収困難	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.6%
諸経費の増加	20.6%	19.6%	24.7%	23.6%	20.0%
従業員(含、臨時)が過剰	1.4%	1.0%	2.2%	0.5%	1.1%
従業員(含、臨時)が不足	23.4%	21.6%	16.9%	19.8%	26.9%
設備不足・老朽化	19.1%	24.0%	24.7%	18.4%	24.0%
特になし	4.3%	6.4%	2.8%	1.9%	4.0%

経営上の問題点

建設業

前期と比較して、「従業員が不足」「収益率の低下」が増加し、「売上不振」「受注単価の低下」「仕入単価の上昇」「公共工事の減少」が減少した。前期同様の傾向が一層強まり、売上不振や仕入単価の上昇は一服している。

	R6年7~9月 n=157	R6年10~12月 n=172	R7年1~3月 n=140	R7年4~6月 n=139	今回調査 n=140
売上不振	21.0%	23.8%	18.6%	27.3%	22.9%
受注単価・販売価格の低下	13.4%	7.0%	15.7%	11.5%	11.4%
収益率の低下	24.2%	24.4%	32.1%	25.2%	30.7%
個人消費の低迷	5.1%	5.2%	7.9%	3.6%	5.7%
販売先の減少	5.1%	5.8%	6.4%	5.8%	2.1%
大型店の進出	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.7%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	7.0%	12.2%	12.9%	15.8%	10.0%
民間工事の減少	15.9%	15.7%	13.6%	15.1%	15.0%
仕入単価の上昇	53.5%	51.7%	57.1%	49.6%	47.1%
円安の影響	6.4%	2.9%	2.1%	2.2%	2.1%
円高の影響	3.2%	1.2%	1.4%	0.7%	0.0%
代金回収困難	3.8%	2.9%	1.4%	1.4%	2.9%
諸経費の増加	26.8%	22.1%	25.7%	21.6%	23.6%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	1.2%	0.7%	0.7%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	47.1%	48.3%	42.9%	48.2%	52.9%
設備不足・老朽化	7.0%	5.2%	6.4%	7.2%	7.9%
特になし	4.5%	6.4%	4.3%	5.0%	4.3%

小売業・卸売業

「個人消費の低迷」が増加し、「売上不振」「販売単価の低下」「諸経費の増加」「仕入単価の上昇」「従業員が不足」が減少した。個人消費の先行きの不透明感が強まっており、従業員不足は緩和されてきているようである。

	R6年7~9月 n=123	R6年10~12月 n=121	R7年1~3月 n=109	R7年4~6月 n=98	今回調査 n=105
売上不振	34.1%	41.3%	33.9%	43.9%	39.0%
受注単価・販売価格の低下	8.1%	6.6%	3.7%	7.1%	5.7%
収益率の低下	20.3%	28.9%	26.6%	25.5%	24.8%
個人消費の低迷	31.7%	24.8%	33.0%	28.6%	38.1%
販売先の減少	20.3%	13.2%	15.6%	14.3%	17.1%
大型店の進出	0.8%	2.5%	4.6%	2.0%	1.9%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	0.8%	0.8%	1.8%	0.0%	1.0%
民間工事の減少	4.9%	0.0%	0.9%	2.0%	3.8%
仕入単価の上昇	47.2%	43.0%	50.5%	42.9%	40.0%
円安の影響	13.8%	12.4%	16.5%	13.3%	10.5%
円高の影響	0.8%	5.0%	1.8%	4.1%	2.9%
代金回収困難	1.6%	2.5%	0.9%	1.0%	3.8%
諸経費の増加	24.4%	18.2%	18.3%	24.5%	21.0%
従業員（含、臨時）が過剰	0.8%	2.5%	0.9%	2.0%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	22.0%	22.3%	22.9%	20.4%	14.3%
設備不足・老朽化	13.0%	9.9%	12.8%	8.2%	9.5%
特になし	4.1%	3.3%	2.8%	5.1%	5.7%

経営上の問題点

飲食業・サービス業

「収益率の低下」「設備不足・老朽化」が増加し、「売上不振」が減少した。売上はやや持ち直しているが収益性の改善には至っていないようである。

	R6年7~9月 n=334	R6年10~12月 n=337	R7年1~3月 n=300	R7年4~6月 n=321	今回調査 n=303
売上不振	29.6%	27.0%	34.0%	30.2%	23.8%
受注単価・販売価格の低下	6.6%	5.0%	7.3%	5.9%	6.6%
収益率の低下	27.2%	29.4%	30.0%	25.5%	29.0%
個人消費の低迷	15.6%	16.3%	16.3%	15.3%	14.9%
販売先の減少	6.3%	6.8%	5.7%	6.9%	9.9%
大型店の進出	0.0%	0.9%	0.7%	0.6%	1.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.5%	1.2%	2.0%	1.6%	3.3%
民間工事の減少	2.4%	0.6%	0.7%	1.6%	2.0%
仕入単価の上昇	27.8%	35.0%	37.0%	32.1%	33.3%
円安の影響	8.1%	6.5%	6.7%	4.0%	2.6%
円高の影響	2.4%	1.2%	1.3%	1.2%	1.3%
代金回収困難	1.5%	0.9%	2.3%	2.2%	1.3%
諸経費の増加	27.8%	31.5%	32.7%	34.3%	35.0%
従業員（含、臨時）が過剰	0.9%	0.6%	1.7%	0.9%	0.7%
従業員（含、臨時）が不足	32.9%	35.3%	28.7%	31.8%	32.0%
設備不足・老朽化	15.6%	13.9%	13.0%	15.6%	17.2%
特になし	12.3%	9.5%	8.0%	9.7%	11.6%